5904-0051

高精度デジタル ヘッドスペック測定器

取扱説明書

株式会社 ジオテックゴルフコンポーネント　千葉市中央区鶴沢町8-6
TEL. 0120-168-188　FAX.0120-655-188　http://www.geotechgolf.com/

各部の名称

1- ベース・プレート
2- スライド・プレート
3- フェイス角計・リフト・プレート
4- フェイス角プローブ
5- ロフト角プローブ
6- フェイス角エンコーダー
7- リフト・プレート調整ノブ
8- ロフト角エンコーダー
9- ライ角エンコーダー
10- スライド・クランプ
11- シャフト・クランプ
12- ライ角調整ノブ
13- ライ角目盛
14- ライ角目盛指示部
15- コントロール・モジュール
16- RS-232接続部
17- ライ角リセット・ボタン
18- ロフト角リセット・ボタン
19- フェイス角リセット・ボタン
20- データ送信ボタン
21- 電源ボタン

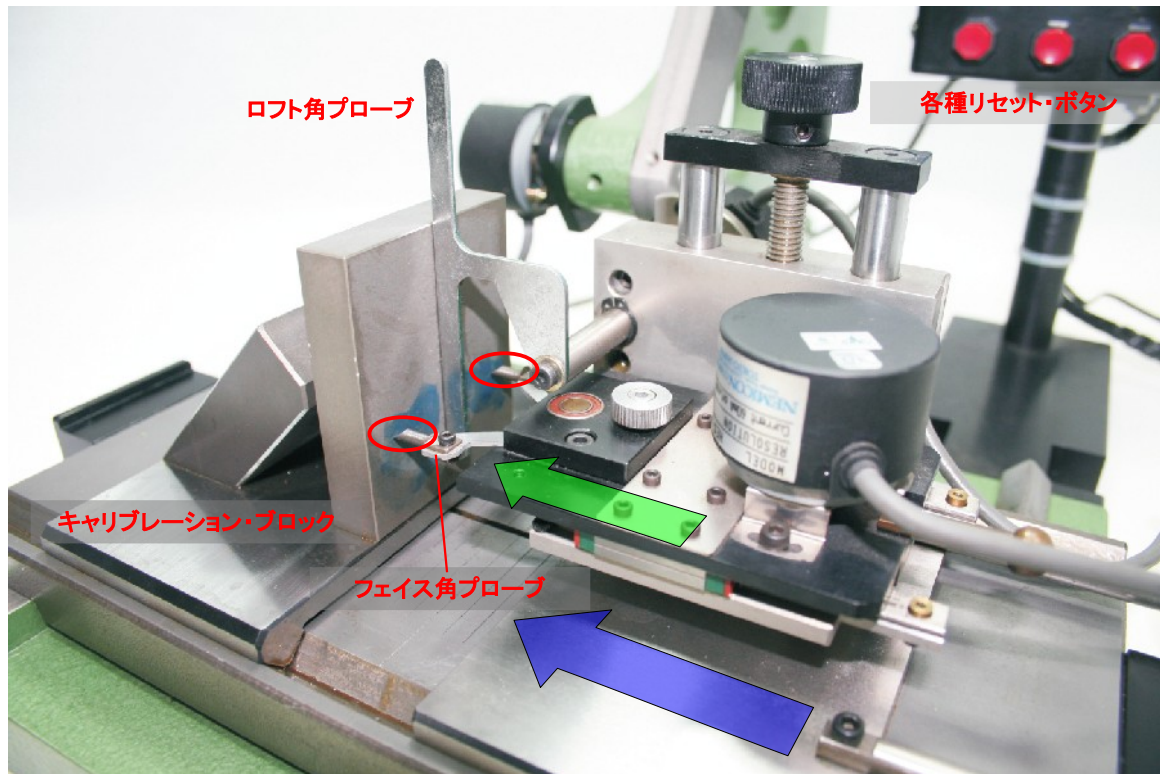
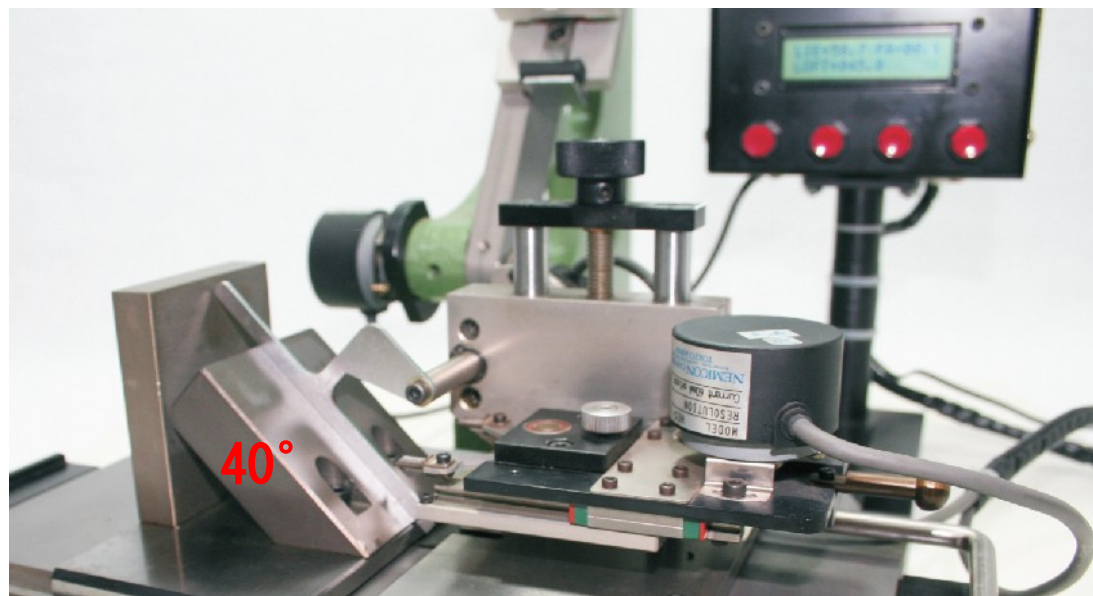
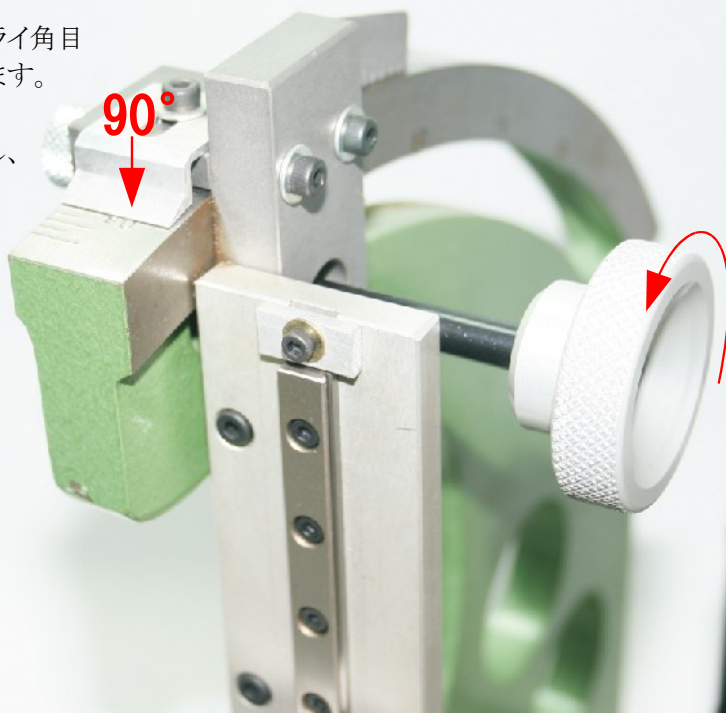
付属品

・キャリブレーション・ブロック⇒P3
・スコアライン・レベリング・プレート⇒P5
・六角レンチ⇒P5
・ボルトレンチ
・予備スクリュー

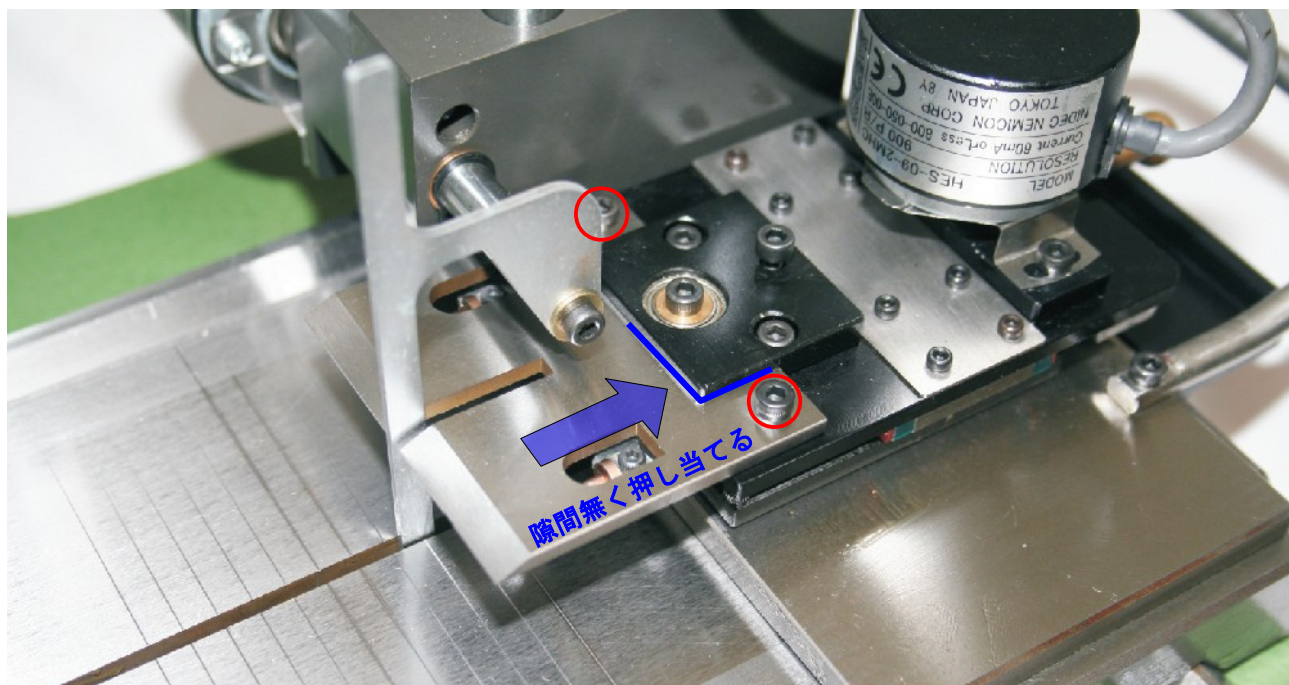
本器は、ヘッド製造工場やヘッド・デザイナーの使用を主に想定して作られています。そのため、ヘッドの各種スペックの基本的な測定方法に関しましては、別紙の『ゴルフヘッドゲージ 取扱説明書』をご参照下さい。一部、計測器具の方式が異なる点もございますが、本書と適宜、読み換えて下さい。

本器では、ロータリー・ポジション・エンコーダーをロフト角、ライ角、フェイス角の各計測部に採用しているため、それぞれの絶対値を得ることはもちろん、規格値等でゼロリセット設定することで、相対変化値を計測することも可能です。これは特に製造工程や品質管理において、生産性の向上と高効率化に大きな役割を発揮します。
RS-232端子を使用してのPCとの接続には、別途ケーブルとPCをご用意下さい。データの転送は、.txt、.xls形式のいずれかになります。PCのハードウェアやOS、その他の環境によっては、ご利用頂けない場合もございますので、ご了承下さい。その他、ご質問等ございましたら、本冊表紙の連絡先まで、お問い合わせ下さい。

＊重要＊
本器を使用する際には、必ずキャリブレーション・ブロックを用いてキャリブレーション(較正)を行ってください。キャリブレーション結果は、電源をオフにすると失われてしまうため、起動時には毎回行う必要があります。

フェイス角・ロフト角 キャリブレーション

1- アダプターをコンセントに繋いだ後、図のように、キャリブレーション・ブロックをベース・プレートにのせ、プレート上で滑らかにスライドするか確認して下さい。
2- キャリブレーション・ブロックとスライド・プレートを動かして、ロフト角プローブをブロックに隙間無く当てます。
3- フェイス角計リフト・プレートを前方にスライドさせ、二つのフェイス角プローブをキャリブレーション・ブロックに当ててフェイス角を0度ポジションに合わせます。
4- それぞれのプローブはブロックに当てた状態で、コントロール・モジュールの電源を入れ、ロフト角リセット・ボタン、フェイス角リセット・ボタンを押して、それぞれの表示を"Loft+000.0"、"FA+00.0"にします。
5- プローブをブロックから離して、キャリブレーション・ブロックを逆向きにします。こちらのブロックのロフト角度は40度に設定されています。
6- 手順2を行い、ロフト角表示が"Loft+040.0"となることを確認します。

ライ角 キャリブレーション

左利き用ヘッド計測時セットアップ

左利き用ヘッドを計測する場合は、スライド・プレートを逆向きにセットします。この時、ロフト角プローブを傷つけないよう、ご注意下さい。

アイアンヘッド計測時セットアップ

スコアライン基準でのアイアンヘッド計測には、スコアライン・レベリング・プレートを使用します。
1- フェイス角計リフト・プレートを後方にスライドさせます。
2- 上図のように、レベリング・プレートがスクエアとなるよう、マウントに隙間無く押し当てます。
3- 添付の六角レンチを使用し、上図赤円内のスクリュー2箇所で固定します。

4- フェイス角計リフト・プレートを前方にスライドさせて、スコアライン・レベリング・プレートをヘッドのスコアラインに当て、レベリング・プレートと、プレートに最も近いスコアラインが平行になるよう、ライ角を調整して下さい。必要に応じて、リフト・プレートの高さを調節して下さい。
5- スライド・プレートを動かして、ロフト角プローブをフェイスに当て、ロフト角を計測します。